

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年10月3日

事業所名:エントランスリパティ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	安全な運動空間の確保のため同時間帯の利用者数は1~6名まで	はい:69 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:0 (回収73)	現状継続
	2 職員の適切な配置	子ども6名に対し、3~4名の職員配置 多職種のスタッフがチームで療育を行い、それぞれの専門的な視点で対応する場合があるので、療育後にはミーティングを実施	はい:71 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1 (回収73) 他:ひとりの専門性が高いので、他のスタッフも同じように対応してもらいたい	経験年数の高いスタッフが療育後にフィードバックを行い、人材の育成も行っているの で、今後も継続していく。 また、慮育場面と地域社会の環境ギャップに 適応していく力をつけるために、支援や声掛 けの質や量を変えていくことも行っている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用開始時に安全に遊ぶルールを説明 必要時にはパーテーションなどで環境調整 視覚的にわかりやすい教示の配慮	はい:58 どちらともいえない:10 いいえ:1 わからない:4 (回収73)	現状継続
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	共有で使う遊具やおもちゃは、子どもが交替するときに洗浄またはアルコール消毒	はい:71 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0 (回収73)	現状継続
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回のスタッフミーティングを通して、事業所の療育について振り返り、問題を共有し合い、解決に向けての対策をたてる		現状継続
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		必要あれば今後検討
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	県や他事業所からの研修のお知らせを周知 正職員は今年2~3回の研修に参加 スタッフミーティングや療育時間内に質問応答		現状継続
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回利用時~当月中に作成 利用ごとに再評価と問題点の整理(面談とノートにて確認)	はい:72 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0 (回収73) 他:的確に指導してくれる。できているところ、これからの課題等しっかり見つけている	現状継続
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動から集団活動に移行する時点で作成		現状継続
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	初期評価のときに目標に合わせて記載	はい:72 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0 (回収73)	現状継続

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	管理者の指導、見守りの下、どのスタッフが対応しても支援計画に基づいた支援を行い具体的な目標行動に導くことができる	はい:70 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1 未記入1 (回収73)	現状継続
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個別療育は個別支援計画に基づいて活動プログラムを立てる 集団療育はグループ全体の支援計画+個別的配慮をしてチームで活動を組み立てる	/	現状継続
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	夏休み等の長期休暇の前に、休暇中の過ごし方などについて提案を行う(集団療育懇談会/個別保護者面談)		現状継続
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	お子さんの成長やその時の調子に応じて、プログラムの進め方および、活動内容の変更を行う 年に3~4回遊具の配置を変える		はい:65 どちらともいえない:6 いいえ:0 わからない:2 (回収73) 他:始めたばかりでわからない
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	対応するスタッフは療育時間の前に対象者の支援計画および指導記録を確認 グループでは活動を進めるスタッフの配置を確認	/	現状継続
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別療育ではその都度実施 集団療育では活動後のミーティングで実施		現状継続
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	療育中もしくは療育後に子どもの行動とスタッフの支援を記録する日報の作成		現状継続
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個別療育では10回終了後に目標の達成度を保護者と確認 個別療育から集団療育に移行する利用者には改めて集団での目標設定を保護者と確認		現状継続
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議が開催される時には可能な限り出席	/	現状継続
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		必要あれば今後検討

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		必要あれば今後検討
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要な場合、利用者からの希望に応じて		積極的に対応したい
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要な場合、利用者からの希望に応じて		積極的に対応したい
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	スタッフに必要な研修は周知し、参加を奨励		現状継続
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	未実施	はい:19 どちらともいえない:14 いいえ:12 わからない:26 未記入:2 (回収73) 他:個別療育のため、わからない	ご家族、ご本人のご希望があれば今後検討していく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域のお祭りなど放課後デイサービスが出店する機会があれば情報提供		現状継続
保護者への説明責	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明会、初回評価時の重要事項説明にて実施	はい:71 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0 未記入:1 (回収73)	今後も丁寧に説明していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では3回/年懇談会を実施	はい:70 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:0 (回収73)	今後も丁寧に説明していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では3回/年懇談会を実施 保護者の茶話会としてリバティカフェを開催1回/月程度	はい:57 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:6 未記入1 (回収73) 他:父親へのペアトレを希望	今年度からペアレントトレーニングのスタッフ研修を受講予定(3年後～単独開催可能になる予定)
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では3回/年懇談会を実施	はい:70 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:0 (回収73)	現状継続
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では3回/年懇談会を実施 集団療育では連絡帳で情報交換、必要な場合には個別に面談を行う	はい:69 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:0 (回収73) 他:子どもの状況を聞いたり、相談する機会が欲しい。個別と比べて集団のときのアドバイスを受ける機会が少ない。	集団療育では保護者と連絡帳で療育時の状況をお伝えしているが、希望があれば個別の相談や見学も受け付けていることお知らせしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 集団療育では3回/年懇談会を実施 必要に応じてグループの際に保護者同士が話し合える場所の提供 保護者の茶話会リバティカフェを開催 1回/月	はい:43 どちらともいえない:11 いいえ:6 わからない:11 未記入:2 (回収73)	集団療育の保護者には実施しているが、個別療育では実施していないので、今後ご希望があれば検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 苦情処理対応について連絡先、対応手順等掲示	はい:43 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:23 未記入:2 (回収73) 他:苦情がないから不明	連絡帳への記載や面接でご要望があればその都度対応している
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 必要に応じて視覚情報(カードや写真)を使用し、わかりやすく伝える配慮	はい:66 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:3 未記入:2 (回収73)	現状継続
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 未実施	はい:43 どちらともいえない:10 いいえ:0 わからない:18 未記入:2 (回収73)	検討中
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応 職員全員対象に個人情報保護の誓約書取り交わし	はい:64 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:4 未記入:2 (回収73)	現状継続
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 洪水等水害時、事故の想定と発生時の対応マニュアルの作成 水害時避難場所掲示 集団療育の初回に避難時の対応説明	はい:58 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:9 未記入:2 (回収73)	初回の契約、重要事項説明の時にお知らせし、連絡帳に避難場所を貼る
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 避難訓練2回/年 集団療育の時に実施	はい:42 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:23 未記入:2 (回収73)	個別療育では時間の制限があり、実施する予定なし 避難場所の周知を行う
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 虐待リスクのある事例を通してスタッフの対応を周知		現状継続
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 該当なし		実施しない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 食事提供なし 食事指導の際は保護者同伴の下で実施		現状継続
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 ヒヤリハット事例があればミーティングで事業所内スタッフで共有し、法人に報告		現状継続